



朝夕の風が冷たく感じられるようになってきましたが、日中は暖かい日も多く、そして寒さを忘れさせてくれるくらい元気いっぱいな子どもたちです。今年も残りあと1ヶ月。月日の流れの速さと同時に、子どもたちの心と体の成長ぶりに驚いています。

先月は散歩へ出かけたり、どんぐりや落ち葉を使っておままごとをしたりして、秋の自然に触れながらたくさん身体を動かしました。どんぐりを自分で見つけると「どんぐい!」「あった!」と嬉しそうな笑顔が見られ、保育士と一緒に友達とやり取りを楽しみながらあそぶ姿がありました。「かーしーてー」「いいよー」「どうじょ」「あいがとっ」と、少しずつ自分の言葉で気持ちを伝えようとする姿も増えていきます。時には友達と物の取り合いになったり、ぶつかり合うこともあります。その都度、子どもの気持ちに寄り添いながら必要な言葉を伝えていきたいと思えます。また、クラス内でのお店屋さんごっこも行いました。好きな品物を自分で選び、手作りコインを使って上手にお買い物をして、その品物を大事に抱える子どもたち。とても微笑ましく思えました。

今月は寒さが一段と強くなりますが、体調の変化に留意しながらできるだけ薄着で元気よく過ごしていきたいと思えます。また、劇あそびに向けて友達や保育士と簡単なやり取りをしながら、さまざまな遊びを楽しめるように工夫をしていきたいと思えます。



おともだちとならがんばれる!

ある日の給食、苦手なメニューが出てAくんはなかなか食事が進みませんでした。同じテーブルのBちゃんは、Aくんをちょっぴり苦笑いで見守っていました。Bちゃんが自分で1皿食べ、保育士とハイタッチをすると“ぼくも!”と思ったのか、自分で1口パクっと食べたAくん。すごいね!と保育士とAくんがハイタッチしたあとは、AくんとBちゃんもニコニコでハイタッチをしていました。

最近ひよこ組の子どもたちは、友達に興味を持ち、名前を読んだり、まねっこし合ったりする姿がよく見られます。その中で、一緒に楽しむだけでなく、お給食、お着替え、トイレなど、友達と頑張ってみようかなと挑戦する姿も増えていきます。友達との関わり合いが日々の成長の励みにもなっているようです。そんな姿が嬉しく、これからも子どもたちの毎日の頑張りを認め、温かく見守っていきたいと思えます。